

接合部性能試験成績証

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
平成22年11月5日東京都港区芝5-3-7
徳栄ビル本館4階
ハウスプラス確認検査株式会社
代表取締役社長 加藤 義雄

1. 接合金物名称	柱交換用パイプコーナー
2. 試験依頼者	株式会社 タナカ 〒300-4111 茨城県土浦市大畑702-1
3. 目的	横架材端部接合部の短期基準接合耐力(せん断)を評価する。
4. 試験内容	横架材端部仕口(柱-梁型)のせん断試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス確認検査株式会社制定「木造建築構造試験事業における接合部性能試験業務方法書」による。
5. 試験体仕様	<p>1) 接合金物</p> <p>柱交換用パイプコーナー 1本 ×2 材 質：板部:SPHC (JIS G 3131*1) パイプ部:SGP (JIS G 3452*2) 寸 法：板部:(外形)45mm×150mm×85mm 木ねじ用孔径 8-φ7.5mm 板厚t=3.2mm パイプ部:φ27.2mm L=40mm 板厚t=2.8mm 表面处理: Ep-Fe/Zn 5/CM2 C (JIS H 8610*3及び8625*4)</p> <p>2) 接合具</p> <p>柱側: 木ねじTBB-75 4本 ×2 材 質: SWCH22A (JIS G 3507-2*5) 寸 法: 公称径φ7.2mm L=75mm 最小断面径φ4.9mm 表面处理: ダクロタイズド処理</p> <p>横架材(土台)側: 木ねじTBB-75 4本 ×2 材 質: SWCH22A (JIS G 3507-2*5) 寸 法: 公称径φ7.2mm L=75mm 最小断面径φ4.9mm 表面处理: ダクロタイズド処理</p> <p>3) 軸組材料</p> <p>柱: 105mm×105mm×795mm スギ(付突) 含水率:11.5~12.5% 絶乾密度:0.38~0.41g/cm³</p> <p>横架材(土台): 105mm×105mm×700mm スギ 含水率:10.0~12.0% 絶乾密度:0.37~0.42g/cm³</p> <p>*1 JIS G 3131 熱間圧延軟鋼板及び鋼帯 *2 JIS G 3452 配管用炭素鋼鋼管 *3 JIS H 8610 電気亜鉛めっき *4 JIS H 8625 電気亜鉛めっき及び電気カドミウムめっき上のクロメート皮膜 *5 JIS G 3507-2 冷間圧造用炭素鋼-第2部:線</p>
6. 試験条件等	試験体は接合部を実状に合わせた仕様としている。 柱と横架材は当該接合金物により連結している。 試験結果は接合部1箇所あたりの数値を示す。試験体の表面处理はなしとする。
7. 試験結果	短期基準接合耐力 9.3 kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す)
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜試験研究センター:神奈川県横浜市鶴見区元宮1-12-24
9. 試験実施日	平成22年10月1日
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 上杉 義則 道場 信義 千葉 博 木村 明博

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。